

# 朗読のつどい

日時 7月7日(土)  
午後1時30分から3時30分まで  
場所 2階研修室

朗読作品 萩原浩作「海の見える理髪店」  
古典落語「味噌豆」  
藤沢周平作「晩夏の光」  
野坂昭如作「火垂るの墓」  
宮沢賢治「双子の星」

朗読：土崎図書館朗読ボランティア「はまなす」の皆さん  
目の不自由な方々とそのご家族、そして地域の幅広い世代の皆さんに耳からの読書を楽しんでいただく朗読会です。事前申込は不要です。直接会場へお越しください。

## 夏休みに研修室を開放します 詳しくは館内掲示をご覧ください

### ブックスタート推進事業

〈日時〉  
7月5日(木) 〈場所〉2階研修室  
8月2日(木) 〈対象〉秋田市在住の0歳児とその保護者  
午前10:30～11:30  
午後2:00～3:00

### 赤ちゃんのためのおはなし会まる

〈日時〉 7月19日(木) 〈対象〉0,1歳児とその保護者  
8月はお休み 〈内容〉赤ちゃんが楽しめる  
9月20日(木) 〈申込〉不要(当日直接会場へ) 絵本や手遊びなど  
午前10:00～10:30  
〈場所〉2階研修室

### 定例：おはなしの会

毎月第1,3,4土曜日に土崎図書館ボランティア「おはなしの会」の皆さんによるおはなし会を開催しています。臨時休館中はお休みしていたので、7月7日(土)は久しぶりの開催です。たくさんの参加をお待ちしています。

〈対象〉幼児から小学校低学年とその保護者  
〈内容〉紙芝居や絵本の読み聞かせ

ライオンズ文庫と大森文庫に今年も新たな本が届きました。展示コーナーにこれまでの全リストを設置しています。

### ライオンズ文庫

(秋田港ライオンズクラブから)  
場所：1階中央展示コーナー

「探検！世界の港」  
「ジャカスカ号で大西洋へ」  
「たのしいローマ数字」  
「財布でひも解く江戸あんない」  
「全196カ国おうちで作れる世界のレシピ」(ほか)

### 大森文庫

(故・大森和美氏のご遺族から)  
場所：1階中央展示コーナー

「鳥獣戯画を読みとく」  
「見て読んでよくわかる！日本語の歴史」  
「あいうえどうぶつえん」  
「AI vs.教科書が読めない子どもたち」  
「短歌と俳句の五十番勝負」  
「バッグをザックに持ち替えて」(ほか)

## 7・8月の行事予定・カレンダー

7/5 ブックスタート  
7/7 朗読のつどい  
7/19 おはなし会○  
7/28、29 小学生の選書体験  
8/1 夏休み子ども講座  
切り絵でデザインする  
マイバッグづくり講座

8/2 ブックスタート  
おはなしの会(第1,3,4土)  
おりがみの会(第2土)  
対面朗読(火・木)

□ 行事のある日 ■ 休館日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 図書館長のつぶやき

この度の改修工事において、天井板のほとんどが取り除かれ、隠れていたコンクリートと配管や機器が現となった。工場夜景の話題なども思い出しながら30年近く稼働した風格をも感じさせる造形美を楽しませていただいた。予定通り7月1日から再開でき、ほっとしている。工事関係者の皆様には心から感謝申し上げますとともに、涼しくなった環境で多くの方の来館をお待ちしております。(辻)



平成30年度 第2号 2018年7月発行

土崎図書館は、空調設備改修工事のため平成30年4月から臨時休館していました。皆様にはご不便をおかけしましたが、工事が無事終了し、7月1日(日曜日)から通常開館いたしました。なお、臨時休館中は北部市民サービスセンターで行っていた臨時出張所および移動図書館イソップ号の特別巡回をご利用いただきありがとうございました。

## 館内のレイアウト、ちょこっとリニューアル

館内に入ってすぐに、今まで使っていたあの机はどこに？と驚かれる方もいることでしょう。限られた空間でより快適に過ごしていただけるよう、机や棚、ソファなどの配置換えを行いました。

## お待たせしました、「読書の記録帳」

秋田市立図書館では5月22日から小学生までのお子さんを対象に「読書の記録帳」の発行をはじめました。ほかの図書館では、子ども達が記録帳を楽しそうに印字する様子が見られます。臨時出張所では発行ができなかったため、土崎図書館では7月からのスタートとなりました。

※図書館利用カードをお持ちの方も申込書が必要です。

## かぞくぶっくぱっく、リニューアル

毎年6月と12月に入替をしている「かぞくぶっくぱっく」。現在は新ぱっくと旧ぱっくが混在しています。恒例の「こんな本が入ってきました」展示とあわせてご利用ください。



秋田市立土崎図書館(ほくとライブラリー)  
〒011-0946 秋田市土崎港中央六丁目16-30  
Tel 845-0572 Fax 845-9912  
市立図書館ホームページ  
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html>

## 新しく入った本の紹介

(担当:小玉)

1868

明治が始まった年への旅

加来 耕三／著

時事通信社

210.6

本書では歴史的事件だけでなく、「明治」という元号が決まっただけでなく、徳川慶喜の好物にまつわるエピソード、西郷どんの里帰りなど、今から150年前の明治元年の出来事を時系列で紹介。当時の日記を読んでいるような感覚で、歴史が苦手な方もタイムスリップ気分が味わえます。

### 全国の日本酒大図鑑 西日本編

友田 晶子／監修

マイナビ出版

588

成人1人当たりの清酒消費量が低い地域は福岡、長崎、愛知など西日本が多いのですが、その中でも隠れた名酒が作られています。西日本各県の代表的な蔵元とおすすめ商品、飲む際の温度までが網羅された1冊。同じシリーズの東日本編もあります。目指せ！日本酒完全制覇！

### 国会議員基礎テスト

黒野 伸一／著

小学館

Fク

イケメン世襲議員、黒部優太郎は委員会をサボってはデートに明け暮れている。そんな彼の尻ぬぐいばかりさせられている秘書の橋本は、政治家になる決意をして「国会議員基礎テスト」を法制化しようと動き出す…。政治家に最も必要な資質とは何かを考えさせられる小説です。

## 新しく入った子どもの本

(担当:加賀屋)

りんごって、どんなくだもの？

調べる学習百科

安田 守／著

岩崎書店

62

誰もが一度は口にすることがあるくだもの、りんご。そんなりんごについてどれだけ知っていますか？この本では品種、育て方、りんごの歴史など写真を使って詳しく紹介しています。普段スーパーには並んでいない品種のりんごも知ることができます。

### もののけ屋

一度は会いたい妖怪変化

廣嶋 玲子／作 東京モノノケ／絵

静山社

91ヒ

「あらあ？あなた、なにかお困りのようね？」突然現れ、悩みを解決する力を持ったもののけを“貸して”くれる。しかし、その力を手放したくなくなった子の体には異変が…。オネエ口調で、派手な着物姿のぼうず頭のこの男は、敵なのかそれとも味方なのか。シリーズ第1作目。

### ニンジャさるとびすすけ

みやにし たつや／作絵

ほるぷ出版

Eミ

この絵本は、あの有名な「さるとびすすけ」の孫、さるとびすすけの物語。いじめをなくすには？死んだらどうなるの？子分の忍者たちが教えてくれるが納得のいかないすすけは、仕えているおとのさまにも聞くことに。すすけはおじいちゃんのような立派な忍者になれるのか？

## おすすめ BOOK リスト

今回のテーマ 生誕100年 いわさきちひろ (担当:安田)

先日あるテレビで、いわさきちひろさんと息子松本猛さんの思い出のデザート、いちごババロアに関わる親子の愛情深いエピソードが紹介されていて、ほのぼのとした気持ちになりました。今回のブックリストは、今なお読み継がれ親しまれている絵本作家いわさきちひろさんの生誕100年にちなみ、肉親や友人たちが、ちひろさんに焦点を当てて書いた本を紹介しましょう。

### わたしのえほん

いわさき ちひろ／絵・文 新日本出版社 726

ちひろが自らの言葉と絵で記した自伝。おもに夫との出会いから、新婚時代のスキー場での思い出、夫にももらった結婚記念の指輪にまつわる話、一人息子とのやりとりなど、妻、母としての充実した日々がうかがえます。

### 思い出のちひろ 二人で歩んだ日々

松本 善明／文 新日本出版社 726

同じ思想を持ち、お互いを理解・尊敬しながら25年連れ添った夫婦の愛の軌跡が描かれています。夫松本善明の深い愛情が読み取れ、最愛の妻を亡くした夫の悲しみが、文章にあふれ出ていて情感が伝わってきます。

### つば広の帽子をかぶって いわさきちひろ伝

飯沢 匡・黒柳 徹子／著 講談社 726

ちひろの鮮烈な人生を深く掘り下げた評伝。ちひろの姉妹や夫、友人へのインタビューによる対談で、ちひろの知られざる様々な表情を引き出しています。

### ちひろさんを語る 18枚のポートレート

松本 猛／編 新日本出版社 726

いわさきちひろ没後15周年記念出版本。18人の執筆者による絵をとおして語るちひろの素顔とそれぞれの思い。この本を編集した息子松本猛が知らない母親の一面を知り、感慨にふける息子の姿が読み取れます。